光徳寺の桜
〈令和３年４月15日撮影〉

信州白樺高原 北化だより

ようこそ桜 風ひかる 信州の春

令和４年 春
第 98 号
編 集 ・ 発 行

信州リゾートサービス株式会社
〒384-2309 長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野 210
TEL(0267)55-7777　FAX(0267)55-6018
http://www.sresort.jp/　E-mail:info@sresort.jp

冬のできごと
地元でグルメ
パンとカフエ【望月エリア】
時代感じて…
信州 街道歩き 其の2
春の信州
ワクワク♪ドキドキ!?
知って得するコーナー
雪おろしと室内改修

常泉寺（八幡宿）

2022 winter 冬のできごと

今年の冬は…

今年は例年よりも降雪が多く、また厳寒な冬でした。管理事務所の計測記録では、1・2月の累計積雪量は、222㎝。最も冷えた日の気温は、12月27日と1月22日の、氷点下13℃でした。

戸建別荘は建物が隠れてしまう程の雪に覆われ、屋根の雪おろしをした別荘もありました。

3月に入り暖かくなってくると、ロイアルヴィラ蓼科の屋根からの落雪により、埋まってしまった通路等の除雪作業は、とても大変な作業となりました。

この冬の降雪と冷え込みにより、管理事務所の建物は、屋根に積もった雪がとけては凍り…の繰り返しにより、大きな氷柱となり、今まで起きたことが無かった「すが漏れ」が発生しました。

また、別荘地内を車で走行中、「エッ!」とビックリ!見るとそこには鹿の群れが木の皮を食べているではありませんか!…きっと雪が多くて食べる物が見つからなかったのかもしれません。鹿も生きる為に必死ですが、皮を剥がされ無惨な姿になってしまった木々もかわいそうです。

※「すが漏れについて」は7ページの知って得するコーナーをご覧ください。

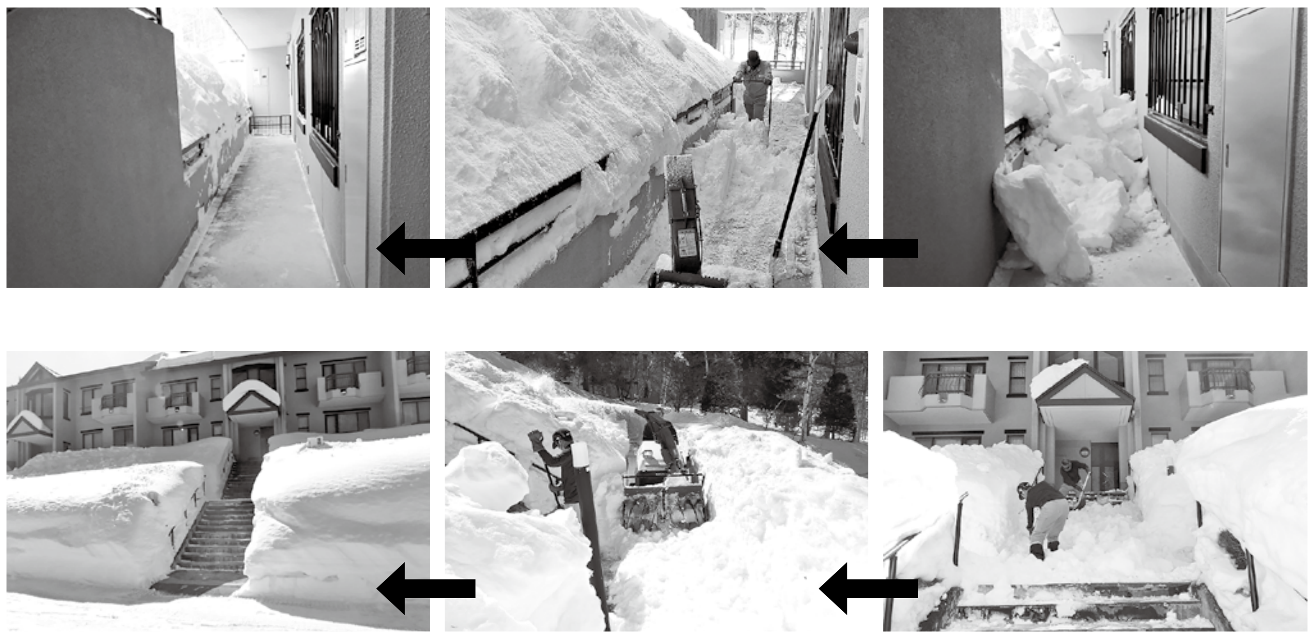
▶鹿の群れ

▲鹿が木の皮を食べた跡

▲雪に覆われた戸建別荘

軽トラに積もった雪（2月20日）▶

ロイアルヴィラ蓼科　屋根からの落雪状況と除雪作業の様子



地元でぐるめ Bread & caffe パンとカフェ

佐久市【望月エリア】

望月のパンとピザ家 the OK bread & pizza

（ジ・オーケーブレッド＆ピザ）

通称 OKブレッド

3年前にオープンしたお店です。店名のOKは「オーケー!!」という響きが明るく、前向きなイメージであることと、オーナーの岡田（OKADA）さんと引っ掛けて命名されたそうです。

色々な種類のパンが販売されていますが、中でもふっくらした丸い甘酒生地の中に、たっぷりクリームが入っている牛乳パンが、私は大好きです。

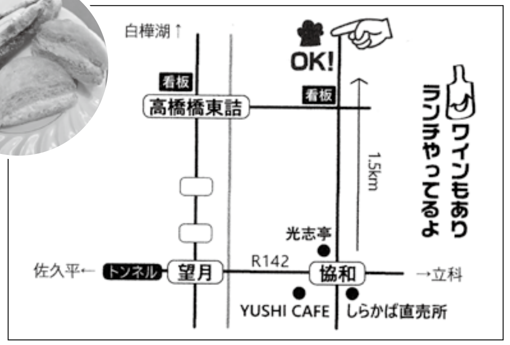
パンの販売だけでなく、ランチもやっており、焼き立てピザ・自然派ワイン等もいただくことができます。（テイクアウトもOK）

お店の向かいには自由に出入りできる別棟の建物があり、周りに気を遣うことなく、グループやお子様と食事やお話を楽しむことができます。

また外には庭席もあるので、ペットと一緒に気軽に訪れることも可能です。

お店周辺には、岡田さんが卒業した小学校や中学校、そして山々や田畑の風景が広がります。この地で育ち、この地が大好きという岡田さんは、この望月に恩返しがしたいという想いが強い方で、とても明るく素敵なオーナーです。

ご家族、友人等でぜひ行ってみてください。お店を出る時には、きっと「元気」もいただけると思います。



Guide

住　　所▶佐久市協和2806-2
☎▶0267-77-7957
営業時間▶9:00 ～14:00
定 休 日▶水曜日＆木曜日

珈琲談話室 まる

「珈琲談話室　まる」は、陶器を販売していた建物を改装し、3年前にオープンしたお店です。お隣に定食屋の「手作りくまさん」があります。

店名「まる」の由来は、一日の一瞬の句読点を珈琲と共に過ごしてほしい…という想いから句読点の「まる」と名付けたということです。一日のちょっとした節目に気軽に立ち寄っていただきたいという気持ちから、定休日は設けず、朝8時～夜7時30分までほぼ毎日営業しています。

店内にはイタリアのエスプレッソマシンが設置され、本場のエスプレッソが堪能できます。メニューは、珈琲だけでなくドイツの老舗の紅茶や、ソフトドリンク、スムージーなど幅広く揃えてありました。

私は「オブセ牛乳」のたっぷり入ったカフェラテをいただきました。濃厚なミルクとエスプレッソの相性は抜群で、ホッとしたひと時を過ごすことができました。

▲店内とエスプレッソマシーン

▲R142号線佐久方面→望月トンネル手前左

▲おぶせみるくカフェラテ

Guide

住　　所▶佐久市八幡991-1
☎▶0267-88-6618
営業時間▶8:00 ～20:00 (L.O 19:30)
定 休 日▶不定休
駐車場有り▶手作りくまさんの駐車場もご利用できます

時代感じて…
信州 街道歩き 其の2

中山道、「二十三宿・塩名田宿」と「二十四宿・八幡宿」をご紹介します。
うららかな信州の春…蓼科山と浅間山がみえる宿場をゆっくりと歩いてみませんか？

二十四宿 八幡宿

江戸日本橋より44里4町（約178km）で、24番目の宿場。千曲川の西側にあり、右岸（東側）にあった塩名田宿からは3km弱で、望月宿とも3km程度で両方の宿場との間隔は極めて短い。これは千曲川が川止めになった時、西側の備え（待機場）であった事と、望月宿との間にある瓜生坂という峠があった為と云われています。

塩名田宿 問屋本陣

1 八幡神社（はちまん） 国の重要文化財

隋神門（ずいじんもん）、瑞垣門（みずがきもん）を通り拝殿・本殿その奥には高良社（こうらしゃ）があります。高良社は三間社流造り（さんげんやしろながれづくり）・柿葺庇門（こけらぶきひさしもん）など室町時代の特徴的な造りで、3つの紋が扉に記されています。瑞垣門は境内最古の建造物で、歴史を感じる建物です。

2 八幡山常泉寺（はちまんさんじょうせんじ）

曹洞宗のお寺で、御牧原の南斜面にあったが、八幡宿がつくられた頃に宿内へ移り、さらに現在地に移ったと云われています。

3 八幡宿本陣（やわた）

※次回は22宿「岩村田宿」と21宿「小田井宿」をご紹介する予定です。

なるほど こらむ **3つの八幡**

この宿には「八幡」の読み方が3つも！あります。「やわた」「はちまん」「はばんさん」

ちょこっと寄り道

食事処 手作りくまさん

地元の定食屋さんとして長い間親しまれています。
春は山菜、秋は山きのこ等、地元で採れた食材を使用しボリュームのある食事が楽しめます。サービスコーナーには惣菜や漬物があり、自由に食べることができます。
隣には「珈琲談話室まる」があります。

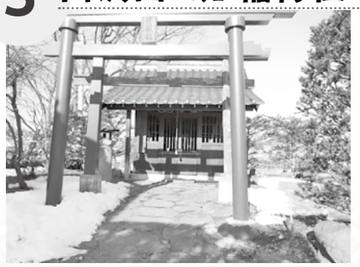
◆営業時間▶8:30～13:30　◆佐久市八幡991-1　◆TEL/FAX　0267-58-2485
※現在コロナの為休業中です。お電話等でご確認の上ご利用ください。

4 舟つなぎ石

明治6年（1873年）に千曲川に9艘の船をつなぎ、その上に板を架けて橋とする「船橋」方式がとられました。船をつなぎ止める為に使われた（上部に穴が開いた）石が現在も川の端に残っています。

▲舟つなぎ石と中津橋

5 向沢山 斑稲荷社（こうたくさん まだらいなりしゃ）



油揚げをお供えしてお願いすると、失くし物が見つかると云われています。

▲向澤山 正縁寺（しょうえんじ）
向沢山斑稲荷社のすぐ近くです。

二十三宿 塩名田宿

江戸から数えて23番目の宿場。
中山道で唯一千曲川と合流する宿場です。「近郷無類の荒れ川」と呼ばれ、千曲川の氾濫はたびたび旅人の足を止めた為、宿として重要な役割を果たしていました。
昔花街としても栄えたという街並みは現在も格子戸が残り、旧屋号の看板が下げられております。ここを歩いてみると過去と現在が入り混じったような不思議な感覚になります。

塩名田宿 街並み

「塩名田宿」にはこれといった何かがあるわけではないですが、私たちの知らない遠い昔に宿場町として栄えたとされる街の雰囲気が感じられます。

6 塩名田神社

宿場が続く道の反対側には塩名田神社が鎮座しています。看板によると、1673年に塩名田宿鎮護の神社（山王権現社）として祀られたそうです。

7 3階建て建物

昭和6年（1931年）に中津橋が木造橋から、銅ブラットトラス橋に架け替えられました。そのため、国道が以前より高い場所を通過することになり、既存の2階建てを3階建てに増築し、国道への出入りを可能にしました。

春の信州

ワクワク♪ドキドキ!?

御嶽海 大関に…ワクワク♪

227年ぶりの快挙!

令和4年1月、初場所で、長野県木曽郡上松町出身力士「御嶽海」が優勝し、大関に昇進し、木曽郡上松町は大いに湧きあがりました。

信州出身の大関は、江戸期の力士、東御市滋野（旧小県郡大石村）出身の「雷電為衛門」以来、なんと227年ぶりということで、御嶽海が大関になったことで、東御市は今も盛り上がっています。なかでも、国道18号線にある、道の駅「雷電くるみの里」の入り口横には雷電の銅像と実物大の模型があり、土日祭日等は写真撮影する人で賑やかです。

また、雷電が履いていたわらじと懸けた名物の「わらじ焼き」はわらじ型のうるち米の上に、東御市名産のクルミが入った甘辛味噌が塗られていて、とてもおいしく人気商品です。

道の駅 雷電くるみの里〈東御市〉

名物「わらじ焼き」

東御市特産の「クルミ」

等身大の「雷電」

「雷電」銅像

《雷電為衛門について》

身長197センチ、体重170キロとされ、得意技は突っ張り。その突っ張りの威力はあまりに強く、突っ張りや両腕をつかんで締め付ける「かんぬき」、張り手を禁じ手にされていたとも伝わります。江戸相撲で254勝10敗の成績を挙げたとされる。

7年に一度の…ドキドキ!?

今年は諏訪大社式年造営御柱大祭（御柱祭）が開催される年です。今年は新型コロナウイルス感染症予防の為、「山出し」は氏子による曳行ではなく、トレーラーなどによる運搬で行われ、最大の見せ場であり、勇敢な「木落し」は中止となりました。平安時代の初期から行われており、諏訪大社の神事の中で最も重要な神事というこの御柱がいつものように執り行われないのは非常に残念ですが、新型コロナウイルス感染症が心配なこの状況では仕方のないことかもしれません。

さて、御柱祭が開催される7年に一度という同じサイクルで、ここ立科の白樺高原地域で発生するのが何かご存じでしょうか？

ヒント…気持ち悪い～、白い虫がうじゃうじゃ

答えは…「ヤスデ」です。この虫が9月～10月の長雨が続いたような時に7年に一度、大発生するのです。刺したり咬んだり、人に危害を与えるようなことはしない虫なので、こんなふうに表現するのは、かわいそうな気もしますが、大発生するので、ただただ気持ち悪いのです。管理事務所周辺の側溝や道路も一面にヤスデが出てきてお掃除に大奮闘します。虫が苦手なスタッフは、ヤスデを想像すると、ゾクゾクしてしまい、今から仕事が手につかないようです。（笑）

さて、今年はどうなるでしょうか？

▲写真は前回、2015年（平成27年）9月に大発生したヤスデ

「すが漏れ」について

雪が多く、寒さが厳しかったこの冬、戸建の建物内に「すが漏れ」が発生しました。2月下旬から3月上旬に、事務所でもこの現象に悩まされました。

すが漏れとは？

屋根に積もった雪が室内からの熱や太陽の熱でとかされて水になり、軒先で凍結することで水をせき止めてしまい、**屋根上にダムのように水が溜まり、屋根材の接合部から室内へ水漏れが起こる現象**です。

なぜ「すが漏れ」というのか？

雪の多い地方では使われることがある言葉で、「すが」は東北地方の方言で「氷」を意味します。氷や雪が屋根に積もり、それが原因で発生する水漏れを「すがもり、すがもれ」と言います。

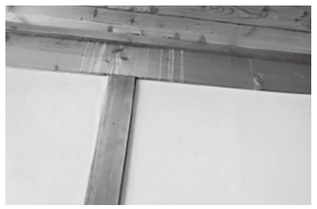
「雨漏り」と「すが漏れ」の違いは？

雨漏りは、屋根の破損箇所や劣化した部分から雨水が浸入することを指します。

「すが漏れ」は、屋根に破損や劣化といった問題が無い場合でも発生します。すが漏れの場合、漏水箇所が接合部なので、表面などの外見に異常が無く、限定的な条件下のみで発生するので、気づきにくいのが難点です。壁などにシミや、跡が残っている場合には要注意です。

▲事務所和室襖

▲事務所屋根の氷柱


▲事務所和室

▲事務所外 すが漏れ屋根の上部

▲事務所外 すが漏れ屋根の下（内側）

「上雪（かみゆき）」・「下雪（しもゆき）」って知っていますか？

「上雪」「下雪」とは、長野県特有の言い方で、南岸低気圧が本州を通過する際、松本や佐久、諏訪、飯田などの中信や南信を中心に降る雪のことを、「上雪」といいます。また、「下雪」とは、冬型の気圧配置、特に風がやや北寄りで強まるときに、長野市より北の、野沢、飯山、信濃町、白馬といったエリアで降雪がまとまることを言います。

では、なぜカミ・シモというのでしょうか？

昔は都に近い側を「カミ」、遠い側を「シモ」とするのが通例でした。中信や南信は、信州の中でもかつての都である京都に近い方向になるので「カミ」といい、その逆の長野市より北方面エリアを「シモ」と呼びます。

また、「上雪」は他の意味もあるようです。

春に近くなると比較的水分を多く含んだベチャっとした雪が降ります。この雪のことを、「カミ雪」と呼ぶ人もいます。長野県民の中には「上雪が降る＝春を感じる」と感じる人もいるようです。

厳寒期に実施した雪おろしとロイアルヴィラ蓼科の
室内改修工事をご紹介します。

雪おろし

すが漏れ対策の一つとして屋根の雪おろしと軒先の氷除去を実施しました。

▲雪おろし前

▲雪おろし後

▲屋根の雪おろし中

▲屋根の雪おろし後

インナーサッシ取付工事

寒さの厳しい冬には冷気の侵入防止、暖房効率向上、結露の低減にインナーサッシが最適です。

▲窓既存状況

▲インナーサッシ取付木枠設置

▲インナーサッシ設置完了

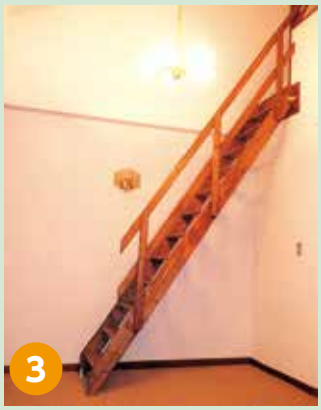
▲インナーサッシ枠設置

階段取付工事

ロフト利用の向上と、安全の為に
梯子から階段へ

▲梯子既存

▲階段設置完了



▲階段塗装完了

編集後記

ウクライナの悲しい現状、衝撃的な映像が世界に発信されています。尊い命が奪われているこの現状を、受け止めることが出来ません。

「行ってきます」、「気を付けて行ってらっしゃい」・「ただいま」、「お帰りなさい」等、毎日当たり前のように言えることがどんなに幸せかを感じます。

日野原重明さんの「いのちの使い方」という本に、「命とは、その人に与えられた時間」という一文があります。一人一人平等に与えられ、使うことができる時間が、ロシアの侵攻により、一瞬で幼い命までも奪われてしまう。あまりにも残酷卑劣で絶望的な気分になります。

「これ以上犠牲者を出さないで！」一日も早い停戦を願わずにはいられません。

そして、命の尊さや平和の意味を次世代に伝えていくことが、私たちにできることなのかなと思います。

寒く厳しかった冬がようやく過ぎ去ります。花々が咲き、虫たちが活動する春の暖かい日差しを、皆が幸せな気持ちで迎えることができるよう祈っています。

信州リゾートサービス㈱一同

※弊社hpもご覧下さい。